

案件概要書

2017 年 8 月 29 日

1. 基本情報

- (1) 国名：タジキスタン共和国（以下「タジキスタン」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：シフォバフシュ国立医療施設
- (3) 案件名：シフォバフシュ国立医療施設医療機材整備計画（The Project for Improvement of Medical Equipment at National Medical Compound of Tajikistan “Shifobakhsh”）
- (4) 事業の要約：本事業は、国内最高次医療施設であるシフォバフシュ国立医療施設において、不足・老朽化した医療機材を整備することにより、同国の優先課題である保健医療サービスの質の向上を図り、もって同国の国民の健康増進に寄与するもの。

2. 事業の背景と必要性

- (1) 本事業を実施する外交的意義

タジキスタンはアジアと欧州、ロシアと中東を結ぶ地政学的に重要な地域に位置している。同国の安定は地域において活動を活発化させているイスラム過激勢力の抑制につながり、地域全体の安定に直結している。

2015 年 10 月に安倍総理がタジキスタンを訪問した際の共同声明においては、質の高いインフラ投資の推進が必要不可欠であることを確認すると共に、特に医療等の分野における実務的協力の重要性を指摘しているところ、本計画の実施を通じて、首脳レベルでの議論の成果を着実に積み上げていくことは、同国との二国間関係の強化に寄与するものであり、外交的な意義が大きい。

- (2) 当該国における保健セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け

タジキスタンは 1991 年の独立以降、様々な保健医療システムの改革を行っているが、旧ソ連時代の体制を色濃く残しており、保健医療サービス改善は進んでいない。国立の医療施設を訪れる患者数は年間 100 万人、入院患者数は年間 3 万人に上り、需要は増え続けているものの、機材の慢性的な不足に加え、旧ソ連製の医療機材を耐用年数を超えて使用している場合が多く、適切な保健医療サービスを提供できていない状況にある。

シフォバフシュ国立医療施設は、首都ドゥシャンベ市に位置し、国立医療センター（旧ディアコフ国立病院）及び九つの高度専門センターが集約する複合的な医療施設で、2,000 床を有する。2006 年に旧ディアコフ国立病院から国立医療センターに改称、2017 年には高度専門センターを併設する医療施設となり、全国から集まる患者を対象に、国内最高水準の診断、治療、救急医療サービスを提供する国内最高次医療施設に指定されている。我が国は、旧ディアコフ国立病院時代に、同病院小児部門への無償資金協力「ディアコフ国立病院医療機材整備計画」（2006 年）を実施し、CT 診断装置や X 線撮影装置といった診断・治療に必要な機材整備を支援した。これら機材は、10 年以上経過した現在まで使用されてきているものの、経年劣

化等に伴い故障・修復が度々生じている。

同国政府の長期戦略「2030年までの国家開発戦略（NDS: National Development Strategy to 2030）」及び「国家保健戦略（NHS: National Health Strategy）2010-2020」は、保健サービスの質・アクセス・効率性の向上を優先課題の一つに掲げている。

シフォバフシュ国立医療施設医療機材整備計画（以下「本事業」という。）は、国内最高次医療施設における医療機材を整備することで、適切な医療サービス提供を図ろうとするものであり、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の達成を目指す同国の開発戦略においても優先度の高い事業として位置付けられている。

（3）保健セクターに対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け

対タジキスタン共和国国別開発協力方針（2012年）の重点分野「地方開発」において「給水施設や母子保健を中心とした医療・保健体制の整備の支援」が重点課題の一つとして掲げられており、本事業は同方針に合致する。

（4）他の援助機関の対応

タジキスタンの保健セクターについては、世界保健機関（WHO）、国際連合児童基金（UNICEF）、アメリカ合衆国国際開発庁（USAID）、ドイツ国際協力公社（GIZ）といった組織が母子保健、プライマリヘルスケア分野への政策・制度、技術面での支援を多く行っている。シフォバフシュ国立医療施設では、今後、カタール基金やドイツ復興金融公庫らが主に母子保健サービスに係る施設建設や機材供与等の支援を予定している。

（5）本事業を実施する開発政策上の意義

本事業は、国内最高次医療施設であるシフォバフシュ国立医療施設の医療機材を整備することにより、同国の優先課題である保健医療サービスの質の向上を図り、もって同国の国民の健康増進に寄与するものであり、同国の開発政策及び我が国の協力方針と合致する。

健康的な生活の確保と福祉の促進を目指すSDGsゴール3に貢献すると考えられることから、無償資金協力にて本事業の実施を支援する必要性は高い。シフォバフシュ国立医療施設は、様々な診療科や身体障害者等社会的弱者への医療サービスを兼ね備えた国内最高次医療施設であるため、同施設の医療機材を整備することにより、タジキスタン全国から本医療施設にアクセスし治療が可能となる患者が増加する効果が見込まれ、もって同国の国民の健康増進に寄与することが期待される。

3. 事業概要

（1）事業概要

① 事業の目的

本事業は、国内最高次医療施設であるシフォバフシュ国立医療施設において、医療機材を整備することにより、基礎的医療サービスの質の向上を図り、もってタジキスタンの保健医療体制の改善を通じた地域開発に寄与するもの。

② 事業内容

ア）施設、機材等の内容：

機材：CT撮影装置、X線撮影装置、MRI（磁気共鳴画像診断）装置等医療

機材（詳細は協力準備調査にて確認する。）

イ) コンサルティング・サービス／ソフトコンポーネントの内容：詳細設計、入札補助、調達監理、調達機材の運営・維持管理に係る研修

ウ) 調達・施工方法：本邦／第三国調達（詳細は協力準備調査にて確認する。）

③ 他の JICA 事業との関係

特になし。

(2) 事業実施体制

① 事業実施機関／実施体制

保健社会保護省（Ministry of Health and Social Protection of Population: MOHSPP）

② 他機関との連携・役割分担

協力準備調査にて確認する。

③ 運営／維持管理体制

保健社会保護省、対象病院が運営・維持管理を担うことが想定されるが、協力準備調査により改めて確認する。

(3) 環境社会配慮

① カテゴリ分類 ☐A ☐B ☒C ☐FI

② カテゴリ分類の根拠：

本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

(4) 横断的事項：特になし。

(5) ジェンダー分類：ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件

(6) その他特記事項：メンテナンスの重要性が高い医療機材に保守契約付帯を検討する。

4. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

同国の無償資金協力「ディアコフ国立病院医療機材整備計画」（評価年度 2009 年）の事後評価結果等では、同国における医療機材の維持管理体制（日常的メンテナンス、維持管理費用の予算化等）の脆弱性が指摘されている。そのため、本事業では、医療機材の維持管理に係る研修を実施し、効果の定着を図る。また、協力準備調査の段階において十分に必要な情報を収集・検討し、診察料等による自己資金源確保を含めた維持管理等に必要な予算についても精査したうえで事業化を行う。さらに、機材の修理や部品交換などの対応を考慮し、現地における代理店の状況も確認する。なお、高度な医療機材については保守契約の付帯と保守契約完了後の同国管理体制を見据えた上で整備を慎重に検討する。

以 上

[別添資料] シフォバフシュ国立医療施設医療機材整備計画 地図

シフォバフシュ国立医療施設医療機材整備計画 地図

案件地図



ドゥシャンベ市内シフォバフシュ国立医療施設周辺地図

